



人権について考えよう～人権擁護委員さんの活動を通して～



先週は、人権擁護委員伊勢地区の皆さんに来ていただき、人権教室をしていただきました。

人権擁護委員の方々には、毎年、「SOSミニレター」をいただいています。子どもたちが悩んだ時に手紙を出すと、相談にのってくれて返事を書いてくれます。学校の廊下にいつも置いてあるので、知っている子どもがたくさんいます。

その他にも、人権擁護委員の方には、人権の大切さを子どもたちに伝えるために様々な活動をしていただいています。今回は、1・2年生には「人形劇」を通して、3・4年生には「ボッチャ」を通して、人権を考える機会を作っていただきました。

1・2年生の人形劇は、こんなお話です。

森に住むオオカミが、他の動物にいじわるをします。
いじわるをされた動物たちは、力を合わせておいしい料理を作ります。それを見ていたオオカミは、仲間に入りたいといいます。動物たちは、仲間に入れるかどうかを考えます。



子どもたちは、人形劇をまじまじと見ながら、自分ならどうするかを考えていたようでした。こんな感想がありました。

おおかみがごめんねってしたのが、あやまれてよかったと思います。みんなもすごいとおもいました。
1年生

おおかみがさいごにクッキーをわたしたのがよかったなと思いました。おおかみは、イメージがいじわるなかんじだけど、ちゃんとクッキーをかえしたから、やさしいなと思いました。
2年生

人形劇を見ながら、子どもたちは、自分の気持ちを伝えることの大切さ、相手の気持ちを受け入れることの大切さを感じたようでした。



また、3・4年生の「ボッチャ」では、子どもたちを4チームに分けて、総あたり戦をしました。最初は、ルールを理解するだけで精一杯でしたが、慣れてくると、どうやったら勝てるのかを考え始めました。所々で、シンキングタイムをとってもらったので、チームのメンバーで作戦を考えました。そんな中から、自分の考えを話すこと、友達の考えを聴くこと、仲間と協力することの大切さを感じ取



っていきました。勝敗はありましたが、全員が笑顔で楽しめる時間だったと思います。。

「人権」をいうと、どこか難しいイメージがありますが、こんな劇やスポーツを通して「人権」を学べる、そんな機会をつくっていただきました。

ボッチャは、しょうがいのある人や子どもや大人、女性も男性も、みんなが楽しくできるスポーツなのがわかりました。楽しいし、みんなが協力するスポーツなのがわかりました。 3年生

ボッチャは、前から知っていたけど、今日、体けんとかして、もっと知ることができました。ボッチャは、勝っても負けても楽しいです。子どもも大人も、お年よりも、しょうがいのある人もできるスポーツがあるなんて初めて知りました。 4年生

5・6年生は、11月20日に「ボッチャ教室」があります。お楽しみに！

